

おくやみ

1月13日、宮嶋重徳さん（享年63歳）が逝去されました。平成2年に阿南学園に入所され、平成15年からグループホームで生活をされていきました。阿南町就労支援センターへ通い一生懸命働かれています。旅行へ行き、皆さんと、楽しんでおられる姿が思い出されます。長きに渡り楽しい日々を一緒に過ごさせていただきまし



宮嶋重徳さん
旅行の写真より

2月15日に、田畑廣子さん（享年66歳）が逝去されました。平成2年から阿南で生活されました。快活で、元気で、踊りが大好きで、忘年会のようなときにはダンスを踊ってくれました。人形劇クラブと一緒に「鶴の恩返し」を演じ、とても熱心に練習したことが良い思い出です。ご冥福をお祈りいたします。



田畑廣子さん
敬老の日の写真より

ひだまりの郷だより

第15号

発行：社会福祉法人ひだまりの郷あなん 阿南学園
399 - 1501 長野県下伊那郡阿南町北條1580
TEL0260 - 22 - 2100 FAX0260 - 22 - 2101
✉ a-gakuen@orion.ocn.ne.jp



新年から年度末までに行つた催し物です！
新年獅子舞
成人式
新年レクリエーション
皆さんへの元気づけの姿をお届けします！

実習生から見た阿南学園

今回、阿南学園での実習をさせていただき、色々な場面での介助や利用者さんとの接し方施設の様子などを学ぶことが出来ました。また、施設に対する考えも大きく変わりました。実習当初はコミュニケーションを取る事が出来るか、怪我をさせてしまつたのではないかと不安であり、施設は介助は上手く出来るかなど不安であり、施設は怖い所ではないかとも思いました。しかし利用者さんと接したり、職員さんの指導の中で、当初の気持ちはなくなり、利用者さんとの関わることがとても楽しくなりました。そしてその中でも理解をするという事が本当に大切に大切なことであると感じました。何をやるにもその方を理解しないとその方にあつた介助や会話はできないと思います。これはどんな場面でも同じことが言えると思うので、とても大切なことを学べた実習になりました。

松本短期大学 奥田

今回、阿南学園での実習をさせていただき、障がい者支援施設がどのような支援を行っているのかを初めて経験しました。実習当初は、利用者さんとのコミュニケーションのとり方や、関わりをどう持つていいのかわからず話す事が出来ない利用者さんも多くいました。ですが支援を実施し、少しずつ関わって行くうちに利用者さんの人柄や、興味のある事などを知ることができ、利用者さんとの関わりが楽しく感じられました。静かな利用者さんであったり、コミュニケーションの取りづらい利用者さんとも、こちらから積極的に関われば楽しく会話や、表情でのやり取りが出来ると知りまし

松本短期大学 櫻井



西寮では一緒に作業をしています



南寮で歓談をしています



実習生のレクリエーションの様子

「一人ひとりが主人公」

20数年前のこと、施設の案内用パンフレットを作成するにあたってキャッチフレーズを検討する過程で誕生した「一人ひとりが主人公」は言葉の響きやイメージの心地よさもあり、いつの間にか阿南学園の基本理念として落ち着き、平成23年に社会福祉法人ひだまりの郷あなんが発足した際にも法人の基本理念として受け継がれ現在に至ります。当たり前のように標榜してきた「一人ひとりが主人公」って何だろう、これを実現するために支援者が胸におくべきことは何かあるべきなのか等について改めて見直す。「一人ひとりに向き合う」、「可能性を引き出す」、「満足感や充実感を得られる生活」、「一人ひとりにあつた支援」、「相手の立場を想像する、相手の想いに共感する」、「思いやり、心地よさ」、「オンリーワンの支援」、「一緒にいて安心できる存在」、「良いところを見出す」、「自分がされた嫌だと思つたことはしてはいけない」などの思いが並びました。

阿南学園の現状を見直し今後の在り方を考え、実践するために利用者さんへ楽しみや困つていることや職員への希望など13項目にわたつて担当支援員による聞き取りを実施したところ、職員に関する希望や直してほしい点については、「職員によって声掛けが違う」、「話をいっぱい聞いてほしい」、「優しくしてもらいたい」、「機嫌が悪いときは気分が変わるように関わってほしい」、「怒らないでほしい」など厳しいご意見をいただきました。

老朽化した施設・設備では快適な住環境を提供することはできませんが、心がこもつた優しい気持ちや暖かな眼差しなど、だれが考えてもそうであるべきだと思つたこと、普通と変わつていないこととされる、「当たり前」な生活を提供・実践することが、「一人ひとりが主人公」になるための最も身近な方法であることを胸に刻みたい。

阿南学園施設長 三浦忠隆



つばき工房

季節

3月になり段々に春らしく暖かい日が続くようになりました。寒い冬から暖かい日が続くようになると気分も明るく楽しい気分になってきます。私はそういうこの時期が大好きです。別れや新しい出会いもありますが、気分を一新してくれます。毎年、新任職員として働き出した20数年前を思い出します。当時の事を思い出すと本当に無我夢中で過ごした記憶があります。勉強の連続でした。その時に吸収した事はとても大切なと感じます。改めて当時の気持ちを忘れずに頑張つて行きたいと思つていきます。
(生活支援員 田中千佳)



阿南学園の一年間

春



年度初めの式



お花見



夜間避難訓練



青空会公演

夏



飯伊障がい者スポーツ大会



クリーン活動



夏祭り



秋



防災訓練



家族交流会



ひな祭り祭2015



冬



忘年会



餅つき



どんど焼き



家族親睦会

お知らせ

阿南町
就労支援
センターでは、
空き缶
(アルミ缶)を
集めています。
収集場所は

阿南学園です。

ご協力
をお願いします



空き缶回収、投入場所が
変更になりました。



今までの空き缶回収場所の
構にある階段を上り
裏手に回ってください



新しい空き缶の回収場所です



蓋を開けていただき
そのまま空き缶を
穴へ入れてください

退職職員



生活支援員 三浦厚子



生活支援員 佐々木康貴

4年間お世話になりました。
これからは別の道に進みます
が、皆さんからいただいた温
かいご指導を忘れずに頑張り
ます。有難うございました。
生活支援員 佐々木康貴



ご厚志

平成28年3月10日
故 田畑廣子様ご
家族より多額のご寄
附を頂きました。
阿南学園の整備な
どに役立たせて頂き
ます。
謹んで感謝申し上
げます。



平成28年2月8日
阿南第一中学校様
よりご寄附を頂きま
した。
利用者さんが楽し
めるレクリエーショ
ン用品の購入へ使用
させていただきました。
ありがとうございました。
ありがとうございました。



交流会の様子

グループホームの生活

アツと言う間に3月、早いものです。
グループホームでも今年一年、くだもの狩り、個別
外出、旅行、学園の行事、地域行事に参加、利用者
自身が計画して外出等々。いろいろな事に参加し楽
しみました。
5月にソレイユに同居した利用者さんも、最初は学
園とは違う生活リズムに戸惑いがあり、休日などを
どう過ごしたらいいかと話していましたが、現在は
慣れ、自分の好きなように過ごしているようです。
多くのグループホーム利用者さんは、学園、就労
センターに徒歩で通っています。今年は雪があまり
降らず、雪道でなく、通う利用者さんにとっても
がたい年でしたが、寒い冬の朝を一生懸命歩いてい
る姿を見かける度、毎日大変だけど頑張っているな
と感心して見ていました。来年度も元気で歩けます
ように。

(地域支援担当職員 小林亜由美)

グループホーム便り

グループホームの1年間



ソレイユ完成!!



飯伊障がい者 スポーツ大会



グループ旅行



ひなたぼっこ通信

早いもので、27年度も終わろうとし
ています。
ひなたぼっこも開所して1年と8ヶ
月、現在4名の方の利用があります。
放課後を利用される方、土曜日、祭日
を利用される方とありますが、ご家族の
希望に合わせて出来る限りの対応に心掛
けています。
暖冬と言ってもやっぱり冬、寒くて
室内で過ごす事が多く、宿題をやった
後は個人の希望に合わせてパズルをやっ
たり、編み物、織り、ボール遊び等行っ
ています。お天気の良い日は大好きな
散歩に出掛け気分転換をはかりました。
12月には他の学校に転校された方が
いたので、その日利用してくれた方と
お茶とケーキでクリスマス会を兼ねお
別れ会を行いました。時々ひなたぼっ
こを思い出してくれているかな...。
新しい学校で元気に過ごしてくれてい
る事を願っています。
一度に全員が集まる事も少なく、日
に1人から2人、職員も一緒に楽しま
せて貰っています。

(保育士 中島信子)

